

# インテリアの街新聞

vol.1

2007年(平成19年)11-12月号

発行: インテリアの街

<http://happy-room.net/>

何鍋が好きですか? 私は『とり野菜鍋』が好きです。実はこれ、私の地元料理だと知ったのは、本当について最近のこと。石川県を旅行した友達から、「道路沿いの看板に、よく『とり野菜』って書いてあったんだけど、何?」とメールがきたのです。あー、あの味噌鍋のことだろうと思い、一応ネットで調べたところ、石川名物と出てくるではありませんか。スーパには『とり野菜み



発刊号のテーマは冬支度になりました。私は寒さが苦手ですが、だからこそ、寒い季節を楽しく過ごせるようにと、冬を心地よく過ごせるようにと、知らず知らず術を見出しているように思えます。例えば、ちよつと苦手な人のいいところを見つけるみたいに。寒い冬の足音が待ち遠しくなるように、今年も冬支度をはじめたいと思います。



これもまた地元の話。石川県は金沢市にある兼六園は、日本三名園の一つです。毎年11月1日から始まる雪吊り作業は有名で、全国ニュースでも伝えられるほど。園内随一の枝ぶりを誇る唐崎松から作業がはじまり、北陸地方の湿気を含んだ重たい雪から木々を守るための雪吊り作業は、およそ一カ月半かけて行われます。12月31日〜1月3日は、300円の入園料が無料となり、また2月には期間限定で園内がライトアップされます。残念ながら、雪吊りがライトアップされた姿をこの目で見たことはありませんが、幻想的でとても美しいそうで、雪が降って



そ『なるものも売っていて、まあとにかく美味しいのです。思い返せば、友達と「何鍋にしよう?」という話になつても、とり野菜鍋があがることはありませんでした。でも私は、こたつに入りながら母が作ったとり野菜鍋を食べるのが好きなので、実家に帰って食べるもん! なんていじけてはいませんが、とり野菜鍋がノミネートしないことを不思議には思っていないませんでした。まさか、友達の間には存在しない鍋だったとは…。今年は、友達に『とり野菜鍋』を食べてもらおうかな。ちなみに、我が家の鍋グッズは、ガスコンロは無印良品のもので、土鍋は、studio・mのもので。今年の冬は何回出番があるのでしょうか?

## フリートリック

「晴れた日は巨大仏を見に」

これは最近読んだ本のタイトルです。ちよつぱりマニアックな旅行記を書く宮田珠己さんの本で、日本にある40m以上の巨大な仏像を見に行った紀行文なのです。40mというのはウルトラマンの身長で、つまり、ウルトラマンより大きな仏像を求めて旅をしたのですが、しかし巨大な仏像に興味があるというよりは、巨大な仏像がある風景が好きだという、やはり少しマニアックな視点をお持ち。たしかに、普通の民家の屋根から大きな仏像がニョキッと飛び出している姿は面白い。私も一度は見てみたい、茨城県にある牛久大仏は日本一の大きさを誇り、なんと120mもあるそう。同じ関東なので、そのうち見にいけるよね、なんて思っていました。日本にこんなにたくさん巨大な仏像が存在するのなら、日本一は、最後のお楽しみにとっておいたほうがいいのかな。

いればよりいっそうのこと。こうなると、寒いことは忘れて、雪が降りますように、とお願いしてしまいたい。私は高校生まで地元に住んでいましたが、兼六園の情緒というものは、高校生が理解するのはなかなか難しい。兼六園よりカラオケでしたから…。大人になった今だからこそ感じられる幸せ、バンザイ。

湯

たんぽ

テレビで知ったのですが、湯たんぽのよさが見直されているようです。そうなのです、足が冷えるという手帳さがうけているそうで、私も今年には湯たんぽを買うつもりでいます。可愛らしいものよりも、昔ながらの湯たんぽが欲しい。

といつても、私がイメージする昔ながらの湯たんぽは、銀色で、波うついる湯たんぽです。あれは足が痛くないのかしら？実は普段、眠るときは足枕をしています。むくみ解消のためですが、あの銀色の湯たんぽは、高さに足枕の替わりになってくれそうなので一石二鳥ではないかしら。と、この文章を書きながら、ちよつとネットで湯たんぽを検索してみました。湯たんぽ市場は熱い！「テレビで紹介されました」の文字が躍る中、可愛らしいアニマル系のものやハートマークのついた湯たんぽなどさまざま。冷え性の友達にプレゼントしたら喜ばれるかも？



海色の入浴剤

冬になると、バスソルトよりも、いわゆる入浴剤が恋しくなります。昨年の冬、沖縄へ行きまして。ホテルの部屋ではシャワーのみで、アメニティの入浴剤は当然手がつけられることはなく、入浴剤にはまっていた私は、持つて帰ることに。東京へ戻り、何日が過ぎたでしょう、沖縄の余韻もすっかり冷めてしまった頃、思い出したように、その入浴剤をお風呂に入れてみました。すると、お風呂が沖縄の海の色になったのです。とてもキレイなブルーグリーンでした。心はすっかり沖縄にトリップして、なんとも言えない幸せな心地になりました。きつと、ホテルの心の遣いすよね？もう一度、あの入浴剤をお風呂につかりたいものです。

フリーストック

「カフェ・コロラド」

午前中に打ち合わせなどで外出する日は、喫茶店でゆっくりモーニングをするのが楽しみです。普段はあまり足が向かない駅の駅前にある喫茶店で、通勤前のおじさま達に混じって、トーストとコーヒーをいただいたり。最近、カフェ・コロラドにデビューしました。ドトール系列で、それよりちよとお姉さんな感じという認識のカフェ・コロラドは、やはり少し大人でした。モーニングメニューのトーストセットは、トーストとサラダとドリンクがついていて、驚くべきは、コーヒーです。ブレンドやアメリカンを注文すると、空のカップと一緒に、カフェポット

がやってくるのです。紅茶ならば、カップとポットでやってくるのをよく見かけますが、コーヒーでは初めての経験かも。店舗によって違うのかもしれませんが、ちよつと嬉しい驚きでした。

ポチ袋

まだ誰かにお年玉をあげなくてもいい身分ですが、いつかはお年玉をあげなくてはいけない時代がくるわけで。かといつてももちろんお年玉をもらえる年齢ではないので、ずいぶんお年玉という行事には参加していません。谷中にある『菊寿堂いせ辰』は、千代紙や手ぬぐいなど、外国人の友達がいたら連れて行ってあげたくなるようなお店で、先日、谷中で道に迷った私は、運よくこのお店に出くわしました。そこには、いろいろな柄の可愛いポチ袋が置いてあり、この袋に入れてお年玉あげたい！と一人で大興奮。残念ながらあげる相手がいませんので、いつかの為にこのお店を覚えておきたいと思います。



編集後記

つくつてしまいました、インテリアの街新聞。いつかフリーペーパーをつくりたいなと漠然と思っていたのですが、そのいつかはいつくるのだろうか...と思いつつ、ちよつとしたきっかけがあり、このように出来上がりました。現在のところ、二ヶ月に一度のペースでの発行を考えておりますが、どうなることやら...。しかしすでに次号のテーマがなんとなく浮かんでいたりします。楽しく続けていけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

インテリアの街

みんなの部屋を募集  
しています

インテリアの街では、インテリアにこだわりをもつ人のお部屋の投稿を随時募集しております。ぜひ、あなたの素敵なお部屋を、インテリアの街で紹介させてください！詳しくは、下記 URL よりご覧くださいね。

☆みんなの部屋  
<http://happy-room.net/room/>

インテリアの街新聞

インテリアの街新聞は、「おしゃれな部屋でおしゃれに暮そ。」がコンセプトのサイト、インテリアの街が発行しているフリーペーパーです。「なんか心地いい」と思っただけの新聞を目指し、毎号テーマを決めてお届けしていく予定ですでお楽しみに。

<http://newspaper.happy-room.net/>